

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/2	塩原支所	教育部	嶽山箒根神社祭について	若者が少なくなり、市の補助も少なくなり、祭りの継続も難しくなっている。市でも何か対策をしてほしい。	生涯学習課	要望として承る。
7/2	塩原支所	教育部	ふるさと創生基金の有効活用について	旧塩原町のときから高校生の通学費補助が同基金からでているが、市町合併後3～5年で補助は無くなってしまっている。しかし、合併して良かったものは、補助率を下げてでも継続してもらいたい。もちろん塩原地区のみでなく板室やその他通学するに大変な地域に拡充してである。事業には継続性も必要で、対象が増えると難しいとかではなく、庁舎建設基金を作ったように、予算に剰余金が発生するのであれば、少しでもいいのでこのような事業にあててもらいたい。	学校教育課	高校生の通学費補助については、現在基金により塩原地区のみを対象に実施している。今後については、事務局としては基金がある限り現状どおり続けていきたいと考えている。基金の状況を見て、早期に協議をしなければならないと考えている。
7/2	塩原支所	建設部	青葉通り周辺の急勾配坂道の融雪装置設置について	コンビニエンスストア(レインボー)から塩原文化会館に至る急勾配の坂道(区画街路1号線)に、水を流して融雪する設備を昨年度設置してもらい助かっている。しかしまだ周辺にはそのような設備がない急勾配の坂道がまだ多数残っている。融雪に使用する湧き水は豊富にあるので、引き続き全ての急勾配の坂道にこのような融雪設備の整備をお願いしたい。	塩建設課	昨年度(18年度)に対象の道路の半分に融雪設備を設置した。残りの部分は、特に上り口と下り口を中心に状況を見ながら今後検討していく。
7/2	塩原支所	建設部	その他	まもなく開通する旧新湯線沿線に、花木を植栽してはどうか。(地元の緑化推進委員会を中心に)	塩建設課	土地を取得した際に木を伐採してしまったという経緯もあり、今後そこに「もみじ」を植栽したいと考えている。植栽については塩原支所観光課と相談をしながら進めていきたい。
7/2	塩原支所		景観について	新しい電柱やガードレールができているが、場所によって色がまちまちであり、見た目も良くない。東電や県に働きかけ、色を統一できないか。	塩建設課	景観法に基づいて策定される景観計画や、都市計画などの中で、統一できるよう検討していきたい。

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/2	塩原支所	教育部	元気広場のトイレ数について	関谷南公園内の元気広場のトイレの数が少ない。隣接しているグラウンドにもトイレはあるが、最近公園全体の利用者が多くなっているため、トイレの絶対数が少なく、公園内の植え込みの中で用をたしている人も見受けられる。トイレの増設をお願いしたい。	スポーツ振興課	現状確認後、検討する。
7/2	塩原支所	建設部	県道折戸西那須野線について	県道折戸西那須野線のうち西那須野地区内では歩道が整備されているが、接骨木から折戸にかけては歩道がなく、横林小学校の児童が通学するのに危険であるので、歩道の設置を要望する。	塩建設課	県に要望しているところですが、あらためて市長名で要望書を県に提出予定。(7月18日付けで要望書を提出)
7/2	塩原支所	建設部	国道400号(関谷～千本松)沿線のツツジの整備について	国道400号(関谷～千本松)沿線にツツジが植えられているが、その整備があまりされていない様子。きちんと整備をしたらとても景観がよくなると思うので整備をしたらどうか。	塩建設課	現状を確認し、県と協議をしていきたい。
7/2	塩原支所	建設部	国道400号沿線のツツジの整備について	国道400号(大吊橋から西那須野方面に向かい1番目のカーブ)のツツジが伸びてしまい危険。地区で整備をしようとしても、交通量が多くて危険で整備ができない。市で整備できないか。	塩建設課	現状を確認し、県と協議をしていきたい。
7/2	塩原支所	総務部	塩原商工会の跡地について	商工会の跡地利用について、市はどのように考えているのか。地区としては、5丁目にある市営住宅に住む人の車が市道に出ていて交通に支障が出るので、商工会の跡地を市営住宅の駐車場にしてもらい、管理を市でお願いできないか。	塩総務課	【塩原支所長】 商工会の跡地は、もともと県から市に払い下げられていたものを利用していた。跡地の利用については要望として承り、今後検討していきたい。
7/2	塩原支所	総務部	消防道路(市道)の管理について	門前地区にある消防用の水利を取るための市道があるが、周囲に駐車場が少ないこともあり、釣りの解禁などがあると夜の間に入ってきて放置駐車をされてしまい、緊急車両が通れなくなる恐れがある。駐車禁止や通行止めの規制をかけられないか。	塩総務課	駐車については、旧塩原支所の跡地を駐車場に整備していくので、少しは解消されるのではないかと思う。規制については市で行うことはできない。地元自治会や警察と協議が必要と思うが、緊急車両の通行を考えると看板を設置するくらいしかできないと思う。

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/2	塩原支所	建設部	道路街灯について	市道宇都野矢板線の入口付近が暗い。街灯を設置してほしい。	塩建設課	現状を確認したい。
7/2	塩原支所	建設部	中塩原の明神橋について	明神橋は老朽化も進み、幅も狭く車がすれ違うのにも危険である。2年後に中塩原バイパスが開通するので難しいと思うが、橋の架け替えはできないのか。	塩建設課	中塩原バイパスの整備が終わると、大型車などがそちらに流れるため、区内への大型車の乗り入れが減少することが見込まれ、それらの現状などをみて検討していく。
7/2	塩原支所	建設部	福渡温泉神社について	国道400号のバイパストンネルがちょうど福渡温泉神社の場所を通る予定なので、神社の移転先についてはどのようになるか。	塩建設課	市から大田原土木事務所のほうに、地区からそのような話が出ていることを伝える。大田原土木事務所の現地説明会があるとのことなので、地元と大田原土木事務所との間で十分に話し合いをしてほしい。
7/2	塩原支所	建設部	蓬莱橋について	橋の欄干に照明があるが、高さの問題で(照明がちょうどドライバーの目に入りやすく危険)、10数年前から照明を消してしまっている。しかし、温泉街の中心にある橋なので、もう一度安全に照明を付けられるよう温泉地にふさわしい照明設備の整備をしてほしい。	塩建設課	県道に架かっている橋なので、県と協議などが必要。後日、県と協議後に回答をする。
7/2	塩原支所	建設部	八汐橋近くのガードレールについて	八汐橋の近くに低いガードレールがあるが、過去にも転落事故などが起きていて非常に危険である。改修をお願いしたい。	塩建設課	既に県へ改修の要望を出している。再度県には要請しておく。

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/2	塩原支所	産業観光部	農作物の動物被害について	以前から農作物の動物被害が相次いでいて、以前に市の担当者に話をしたところ、担当職員が現場を確認していったが、対策などはその後とられていなかった。今は自身で対策をとらないと農作物を作れない状況で、個人で、防護のための設備などを設置した場合に、市から助成などは受けられるのか。	塩農務課	昨年までは電気柵の補助があった。しかし、県の方針が「地域をあげて鳥獣の被害対策」をするように変わってしまい、結果として電気柵に対する補助金が今年から無くなってしまった。市では、県に対して早急の問題として話をしているが、残念ながら県の動きが鈍い。今後ともねばり強く県に要請をしていきたいので時間をいただきたい。
7/2	塩原支所	産業観光部	古町5丁目の県営駐車場対岸に吊り橋を	古町5丁目の県営駐車場対岸に吊り橋を設置してほしい。昨年度の回答では国の補助がなくなり、凍結ということだったが、現在、塩原温泉には「湯っ歩の里」をはじめ、「妙雲寺」「もの語り館」「塩原新庁舎」など箒川沿線に施設ができ、遊歩道が整備されつつある。県営駐車場に橋があれば、その対岸にある「洗心の滝」や「箱の森」などへ回遊ができ、観光面でのメリットがあるので何とか再考してほしい。	塩観光課	権限委譲により、環境省の補助が殆どなくなり、県内の観光都市関係の市町村で措置してくれるよう要望を出している。また、県関係でも観光施設の補助としては、公衆トイレの関係しかなく、非常に厳しい状況であるので、今後も県を通して働きかけてしていきたい。
7/2	塩原支所	市民福祉部	国民健康保険について	那須塩原市では、国民健康保険のデータ(紙文書)はちゃんと保管されているのか	本保健課	国保の加入世帯は約23000世帯。データも保管されている。
7/2	塩原支所	市民福祉部	箒根出張所に自動交付機を	塩原支所では、曜日限定で夜間も住民票などを取ることができるが、箒根出張所にも自動交付機などを設置して、住民票などを取ることができるようにしてほしい	塩市民福祉課	箒根出張所でも塩原支所と同じく毎週水曜日にトワイライトサービスを実施している。なお、自動交付機については既に西那須野支所に設置されているほか、18年度、本庁(黒磯)にも設置をした。塩原支所・箒根出張所への設置については今後研究をしていきたい。

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/2	塩原支所	生活環境部	市営バスについて	<p>現在7路線ある市営バスの利用客数の状況と、赤字補填の状況および民間バス会社が撤退した場合、市としてはどのような考えで市営バスの運行をしていくのか。またその基準はあるのか。</p> <p>【再質問】 中心部を走るバスの内、利用客の少ない時間帯の余ったバスを、日に1～2本でいいので、新湯地区のようなバスの走っていない僻地に割り当ててもらうことはできないか。</p>	塩生活環境課	<p>利用乗客数は、塩原巡回6295人、上三衣線11517人、宇都野線4990人、大貫線6145人、湯宮線19175人、鍋掛線16257人で合計6路線が現在運行している。</p> <p>今後新規路線として1路線追加になる。</p> <p>赤字補填については、約6000万円前後になるが、今後運行方式が変わり、赤字部分を補助金という形で補填していくようになる。</p> <p>また元々通学の足を確保するために設けられたため、昼間の時間帯は利用者の少ない路線もあるため、その内のいくつかを日中のみ接骨木方面に回し、国際医療病院に接続することを新規の路線の一部として予定している。今後については、この状況を5カ年計画で様子を見て、運行方式や民間との連携なども考えて行かなくてはならない。しかし現状では、それぞれの路線の相互連絡が悪い状況なので、それらを改善する路線を7路線目として10月からの運行を予定をしている。</p> <p>【再質問の回答】 まずは既存の路線の中でできるかぎりうまく運行することを目標に5カ年計画を立てた。次の段階で、過疎地の生活路線確保について、いろいろな方法をこの5カ年計画の中で検討していきたい。</p>
7/2	塩原支所	生活環境部	市民一斉美化運動について	<p>市民一斉美化運動について、日時を固定されると観光地では参加しにくい。できれば、日時を固定せずに月間や週間にして、ゴミ拾いの日時については、地元任せにしたい。</p>	塩生活環境課	<p>地元の人たちがまとまって実行しやすい日に実行してもらうのが一番良いことと思うので、地域で十分に相談してほしい。</p>
7/2	塩原支所	総務部	消防整備事業について	<p>消防整備事業とは新しい消防車と車庫を整備してくれる事業と受け止めているが、その場所は既に決定しているのか。また、これから決める場合はどのような方法・条件があるのか。</p>	塩総務課	<p>本来、消防詰め所の整備の順番は、施設の老朽化の関係から、「遅野沢・藁沼」、「中塩原」の順になっている。遅野沢・藁沼地区では施設を立てる土地の形状や広さに問題があったので、地元の人たちなどと協議をし、別の場所を探していたが、今年の予算編成をするまでに間に合わず、次点の中塩原で予算を計上した。しかし、最近、遅野沢・藁沼地区で新たに土地が見つかったため、もし工期などが間に合うようであれば、遅野沢・藁沼地区を優先的にしていきたい。中塩原については場所やその条件を地元の人たちと十分に協議して今後進めていきたい。</p>

日付	会場	所属部	項目	意見・要望	担当課	懇談会での回答
7/2	塩原支所	総務部	消防ポンプ小屋について	福渡温泉神社にある防火水槽が、国道400号のバイパストンネル工事に絡んで今後使用できなくなる。幸い、古い町営住宅が5軒取り壊され、空き地ができていますので、防火水槽をそこに移設し、併せて消防ポンプ小屋も設置してほしい。	塩総務課	消防ポンプ小屋の整備については、老朽化しているところから順番に計画的に整備をしていく。土地の選定については、緊急自動車が入りやすい関係もあるので、土地の形状などもふまえて、地元消防団や消防本部などと検討していくことになる。
7/2	塩原支所	総務部	消防用水について	遅野沢地区に水田の用水池として使われている約250㎡の池がある。かつて、同地区では防火用水などの設置を行政に要望したところ、予算の関係でこの池を消防用水として利用することになった。しかし、5年前に火災があり、ここから水を吸い上げたところ、ヘドロがひどくて消防ポンプが壊れてしまった。水質も機械に対してはあまり良いとは言えないので、市で現状を確認し、消防用水として使えるように対策をとってほしい。	塩総務課	防火水槽の設置状況については、黒磯・西那須野地区の市街地については十分に設置されているが、塩原地区については地域が広いということもあり、昨年も議会に陳情が出されるなどしている。そのため、計画的に地域の事情にあった防火水槽の設置基準を作っていくということ懸案事項になっている。今回話のあったこの池についても、防火水槽の役割を十分に担っているのか現地調査を行い、消防と協議していきたい。
7/2	塩原支所	総務部	新庁舎建設基金と塩原庁舎について	塩原新庁舎の建設について、以前に庁舎検討委員会で「ハロープラザを改修して新支所にすべし」との答申書を出したが、その答申が生かされないまま、結局、現在の場所に新庁舎ができてしまった。合併の際に8億円の基金があったので、それを使って庁舎を造ればよいとの考えであった。 将来的に職員数は減少していくのを計算の上で合併したのだから、新庁舎建設基金の積み立てには十分注意してもらいたい。 また、この塩原新庁舎を今後どのように活用していく考えなのか伺いたい。	塩総務課	職員数については、定数削減や組織機構の見直しにより、極端に増加する状況ではない。また、新庁舎の建設についても、今後10年間の間に見通しを立てておくにはいけない。また、その場所や規模など様々なことは建設するときに検討委員会などで協議をしてもらうようになる。ただ、新庁舎を建てるには多額の資金が必要なのは確かで、それをふまえて、ある程度定期的に決算の剰余金を活用し、基金を積み立てて行くことを趣旨にして基金を作った。しかし、基金を作ったからといってすぐに庁舎を建設する訳ではないので、了承願いたい。 <b>【市長】</b> 塩原新庁舎については、建設する際にその場所を巡っているいろいろな話が出た。しかし市としては、万が一災害などが発生した場合、住民はもちろん、温泉街に来ている観光客の安全も守らなければならないと考え、温泉街の防災の拠点になるように今の場所に新庁舎を建設したので、了承をいただきたい。